



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月7日

上場会社名 株式会社テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,166	22.0	658	59.9	660	61.4	475	22.5
30年3月期第2四半期	3,414	9.3	411	22.8	409	22.2	388	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	55.49	
30年3月期第2四半期	45.08	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,116	13,119	86.8
30年3月期	15,493	13,017	84.0

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 13,119百万円 30年3月期 13,017百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		45.00	45.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	7.5	1,400	6.1	1,400	6.1	900	31.2	104.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	8,760,000 株	30年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	188,082 株	30年3月期	193,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	8,568,413 株	30年3月期2Q	8,609,727 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続いたものの、通商問題による世界経済の不安定化に対する懸念などもあり、先行きの不透明な状況で推移しました。

医療機器業界では、政府による社会保障費の抑制に向けた取り組みが一段と進む中で、診療報酬についてもネットのマイナス改定となるなど、医療施設において一層の経営効率化が求められております。

このような経営環境の中で、当社は、主力製品である採血管準備装置に関して、採血時の患者呼出や、採血患者の情報表示などにより採血業務をアシストする「採血業務支援システム」の最新システム「Assist More」の販売を開始するなど、製品ラインナップを拡充しつつ更新需要の確実な捕捉、新規ニーズの掘り起こしに注力いたしました。また、検体検査装置分野においては、主力の血液ガス分析装置を中心に、積極的な販売活動を継続してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,166,390千円(前年同期比22.0%増加)となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比5.3ポイント増加し14.7%となりました。

利益面に関しては、売上高の増加により売上総利益が1,965,455千円(前年同期比22.7%増加)となり、販売費及び一般管理費については、採血管準備装置関連の研究開発費の増加や、全国拠点において実施したサービス体制の強化による人件費の増加等により1,307,367千円(前年同期比9.9%増加)、営業利益は658,088千円(前年同期比59.9%増加)、経常利益は660,553千円(前年同期比61.4%増加)、四半期純利益は475,438千円(前年同期比22.5%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,515,905千円(前年同期比46.6%増加)となりました。国内市場では、旧モデルからの更新需要に加え、RFIDを応用した付加価値の高いシステムの導入が進んだことから、売上高は1,151,468千円(前年同期比27.1%増加)となりました。海外市場では、中国市場を中心にアジア向けの販売が好調を維持し、売上高は364,436千円(前年同期比184.3%増加)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は322,188千円(前年同期比43.5%増加)となりました。検体検査装置分野の主力製品である血液ガス分析装置の売上が、デスクトップ型・ハンディ型ともに伸長し、国内市場での売上高は242,773千円(前年同期比33.2%増加)、海外市場についても、アジア・中南米等の新興国に向けた同製品の販売が増加し、売上高は79,414千円(前年同期比88.1%増加)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,328,297千円(前年同期比8.0%増加)となりました。国内市場における売上高は2,158,830千円(前年同期比7.6%増加)、海外市場での売上高は169,467千円(前年同期比13.0%増加)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は15,116,946千円となり、前事業年度末比376,205千円減少しました。これは主に、採血管準備装置の仕入増加により商品及び製品が330,000千円増加、売上の増加や債権回収により現金及び預金が102,148千円増加した一方、売上債権の回収が進んだことにより売掛金が736,907千円減少したほか、仕掛品が47,680千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は1,997,768千円となり、前事業年度末比477,663千円減少しました。これは主に、前受金が75,970千円増加した一方、仕入債務の支払いにより買掛金が324,590千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が132,922千円減少、未払消費税等が76,053千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は13,119,178千円となり、前事業年度末比101,457千円増加しました。これは、剰余金の配当が385,493千円、四半期純利益が475,438千円であったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は86.8%となり、前事業年度末比2.8ポイント増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、7,171,237千円（前事業年度末比41,999千円増加）となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期累計期間において、営業活動により得られた資金は505,304千円（前年同期比500,097千円減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額が771,253千円、税引前四半期純利益が674,911千円であった一方、仕入債務の減少額が324,590千円、法人税等の支払額が314,851千円、棚卸資産の増加額が292,020千円であったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、投資活動により支出した資金は77,559千円（前年同期比24,153千円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13,087千円があったほか、定期預金の預入による支出60,148千円があったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、財務活動により支出した資金は385,744千円（前年同期比16,488千円増加）となりました。これは主に、配当金の支払額385,619千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月9日付の平成30年3月期決算短信で発表した平成31年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,327,288	9,429,437
受取手形	189,334	148,911
電子記録債権	284,159	290,237
売掛金	2,747,734	2,010,826
商品及び製品	921,975	1,251,976
仕掛品	181,964	134,283
原材料及び貯蔵品	91,598	101,298
前払費用	28,663	55,195
未収消費税等	—	10,659
その他	11,756	4,556
貸倒引当金	△1,560	△1,560
流動資産合計	13,782,913	13,435,822
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	918,928	926,118
減価償却累計額	△539,893	△551,825
建物（純額）	379,035	374,293
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,553	△3,586
構築物（純額）	523	491
機械及び装置	177,374	177,374
減価償却累計額	△119,807	△128,225
機械及び装置（純額）	57,566	49,148
工具、器具及び備品	147,545	150,899
減価償却累計額	△115,534	△120,381
工具、器具及び備品（純額）	32,010	30,518
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,256,463	1,241,778
<b>無形固定資産</b>		
商標権	66	33
ソフトウェア	17,871	13,809
ソフトウェア仮勘定	—	3,340
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	19,115	18,360
<b>投資その他の資産</b>		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	288,237	278,582
長期前払費用	38,257	32,285
その他	100,654	102,607
投資その他の資産合計	434,659	420,985
固定資産合計	1,710,239	1,681,124
資産合計	15,493,152	15,116,946

（単位：千円）

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,233,279	908,689
未払金	156,171	112,170
未払費用	62,456	61,665
未払法人税等	340,453	207,530
未払消費税等	76,053	-
前受金	78,592	154,562
預り金	8,693	9,781
前受収益	76,950	121,346
賞与引当金	120,278	126,021
役員賞与引当金	26,675	-
その他	1,637	1,415
流動負債合計	2,181,239	1,703,183
固定負債		
退職給付引当金	126,310	137,146
役員退職慰労引当金	120,590	122,423
製品保証引当金	6,934	5,087
その他	40,356	29,928
固定負債合計	294,192	294,585
負債合計	2,475,432	1,997,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	11,382,780	11,472,402
自己株式	△402,786	△390,949
株主資本合計	13,017,720	13,119,178
純資産合計	13,017,720	13,119,178
負債純資産合計	15,493,152	15,116,946

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
売上高	3,414,155	4,166,390
売上原価	1,812,486	2,200,935
売上総利益	1,601,669	1,965,455
販売費及び一般管理費	1,190,005	1,307,367
営業利益	411,664	658,088
営業外収益		
受取利息	208	222
受取配当金	0	0
為替差益	-	152
その他	919	2,137
営業外収益合計	1,127	2,512
営業外費用		
支払利息	49	47
為替差損	568	-
その他	2,928	-
営業外費用合計	3,545	47
経常利益	409,246	660,553
特別利益		
還付消費税等	64,253	-
受取損害賠償金	-	16,510
特別利益合計	64,253	16,510
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	14,320	-
訴訟関連費用	30,925	2,152
特別損失合計	45,246	2,152
税引前四半期純利益	428,253	674,911
法人税、住民税及び事業税	132,594	189,818
法人税等還付税額	△91,405	-
法人税等調整額	△1,098	9,655
法人税等合計	40,090	199,473
四半期純利益	388,163	475,438



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	428,253	674,911
減価償却費	34,685	32,249
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7,738	1,833
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,121	10,836
貸倒引当金の増減額（△は減少）	264	-
賞与引当金の増減額（△は減少）	17,821	5,742
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△9,732	△1,847
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	-	△26,675
受取利息及び受取配当金	△208	△222
支払利息	49	47
売上債権の増減額（△は増加）	771,852	771,253
たな卸資産の増減額（△は増加）	60,890	△292,020
仕入債務の増減額（△は減少）	38,738	△324,590
その他の資産の増減額（△は増加）	8,071	△13,734
その他の負債の増減額（△は減少）	△67,514	△17,803
小計	1,295,033	819,980
利息及び配当金の受取額	208	222
利息の支払額	△49	△47
法人税等の支払額	△289,791	△314,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005,401	505,304
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,140	△60,148
有形固定資産の取得による支出	△11,544	△13,087
無形固定資産の取得による支出	△5,319	△3,722
差入保証金の差入による支出	△36,562	△2,863
差入保証金の回収による収入	1,854	2,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,712	△77,559
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	△124
配当金の支払額	△369,256	△385,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369,256	△385,744
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	534,432	41,999
現金及び現金同等物の期首残高	6,150,678	7,129,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,685,110	7,171,237

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）及び当第2四半期累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。